

三ツ峠山

2018. 5. 14 (月) Osio

△△△△△△△△△△△△△△△△△△△△△△△

○行程

- ・ 三ツ峠登山口 (9:10) 発→三ツ峠分岐 (9:25)→三ツ峠山荘 (9:35)→三ツ峠山 1775m (開運山/10:05)
→御巢鷹山 1775m (10:35)→木無山 1732m (11:33)→三ツ峠山荘 (14:30) 所要時間 5:20

○ 早朝河口湖畔の宿を立ち、R137 から三ツ峠登山口へと向かう。天気は上々で、美しい富士山の姿が見られる。約1時間で、登山口に到着。金ヶ窪沢沿いの林道を登る。林道は広くて歩き易く、沿道には高山植物も見られる。三ツ峠分岐の標識後山荘の姿が見えてきた。山荘前のベンチで、休息する。富士山の展望が素晴らしい！ 左側の屏風岩方面から、元気な掛け声が聞こえて来る。ロッククライミングの訓練だろうか？ (山梨の自衛隊レジヤ教育隊の訓練の様でした。)

山荘から四季樂園を通り抜けると、小高い見通しの良い丘にでる。屏風岩を見ながら、電波塔の階段を登って行くと、開運山の山頂に着く。山頂は広くはないが、360°の展望が広がっており、南アルプス等の山々が望める。台座に乗り富士山をバックに写真を撮る。

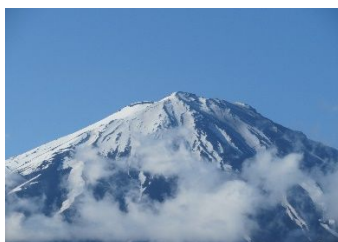
山頂から北の方向に下り、分岐から林道をさらに10分進むと、林立する電波塔が見られ、大きな電波塔の後ろに回ると、フェンスの中に御巢鷹山の山頂標識が在る。(標高値 1775m→1760mのみ)

一旦分岐まで戻り、分岐を右に山荘経由で木無山へ向かう。陽射しが穏やかなので、沿道の高山植物を物色しながら、進む。途中の眺め良い岩場で、昼食にする。ここで、暫く休憩する。

広い林道を天上山方向へ進んで行くと、分岐点に木無山の山頂標識が在る。分岐点を少し右進み、左側の藪に入り、見通しの良い地点まで下ると、富士山と河口湖畔が一望できた。元の道に引き返し、山荘へ戻る途中、河口湖・富士吉田方面からのハイカーと出会う。時間も早目だが、三ツ峠山荘に入る。

今日は、開運山・御巢鷹山・木無山の全行程を終了、楽しい一日でした。又、山歩きしましょう！三ツ峠の山の名は、山頂直下で水が湧き、それで水峠と呼ばれたことに由来しているらしい。

参加者 3名



富士山 1 (河口湖畔から)



富士山 2 (御坂みちから)



ミネザクラ



ミツバツツジ



開運山山頂



エイザンスミレ



キンバイ?キイポウゲ?



御巢鷹山山頂



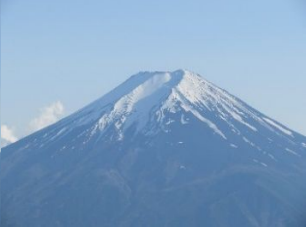
屏風岩(昼食岩場から)



木無山山頂



富士山3(山荘の2階から)



富士山3(山荘の2階から)